



▲人は財、公平公正な人事評価を

職員の処遇は公平公正か

答弁＝勤務評価などで総合判断

- ① 財産は金、物だけでなく、人材の時代と言われている。地方公務員法で、その登用については、いかに有益な職員であるかを第一に考えなければならぬ。どのような手段で選任しているか。長の私的な評価で任命はしていないと思うが、公平公正でなければと考えるが如何か。
- ② 評価する側の教育訓練は。
- ③ 人事の決定は。

答弁＝高橋理事

- ① 職員の登用にあたっては勤務評定の結果や勤務実績など総合的に判断。方法は、能力、態度、業績の視点で五段階の評価。評定者と調整者の複数により決定。
- ② 教育訓練は、日本経営協



緑生会代表

松本 かをり

- ① 今年6月(旧)播磨北小跡地の県との契約内容は、建物すべて無償で譲与、土地1万7542㎡を無償で貸付。契約に住民活動拠点の確保が何も明記されていないが、他に覚書などはあるのか。
- ② 相手方が県であっても同時契約であったとしても、県にすべて渡す、それから協議というのは論外。一般常識でも、私事であっても、このような契約はしないが。
- ③ (旧)播磨北小跡地は生かし

(旧)播磨北小跡地内容は

- ① 今年6月(旧)播磨北小跡地の県との契約内容は、建物すべて無償で譲与、土地1万7542㎡を無償で貸付。契約に住民活動拠点の確保が何も明記されていないが、他に覚書などはあるのか。
- ② 相手方が県であっても同時契約であったとしても、県にすべて渡す、それから協議というのは論外。一般常識でも、私事であっても、このような契約はしないが。
- ③ (旧)播磨北小跡地は生かし

答弁＝清水町長

- ① 拠点の確保は現在交渉中であり町の考えを県に理解していただいている。覚書などは今回の契約に盛り込むべきものではない。
- ② 松本議員と私達の価値観が違ふ。これは無償で譲与・貸付の契約です。
- ③ 100%有効に活用。福祉教育の拠点となる特別支援学校が県より建設されることで住民に理解を頂けると信じている。
- ④ 人々が気軽に利用できる事を目指している。



▲太陽光発電による自然エネルギーの導入を

自然エネルギーの活用を

答弁＝時間をかけて検討したい

- ① 温暖化抑止の取り組みの現状は。神戸製鋼はCO2の排出量は全国で5番目に多い。企業へのチェックの対応は。
- ② 太陽光発電の公共施設への設置と、個人住宅への補助制度の導入を。
- ③ 行政として経費の節約とCO2の削減、健康にも最適なエコチャリ制実施の考えは。



日本共産党

田中 久子

答弁＝柘田理事

- ① 企業として違反時の措置の強化、環境管理の徹底。応じない企業に操業の短縮と停止など必要な指示を行うことができる。また、定期的に協議や現況の視察を行い、二市二町と県で検証を行うこととしている。
- ② 公共施設は、新増設の際に検討したい。個人住宅はコストが安価になってから時間をかけ検討。
- ③ 自転車の利用は健康にも環境にも良い乗り物。現在公用自転車は6台所有している。何台がいいのか活用については検討。

答弁＝清水町長

- ① 学校地域交流施設の1階は地域や各種団体の利用を、2階は福祉作業所や会議室を計画中で、具体的な利用まで決まっていない。今後、県教育委員会と協議を進め、22年度には運営協議会を中心に、福祉と地域づくりの拠点として活用を始め、地域の活性化を図り住民の要望も検討したい。

地域交流施設の利用は

県教育委員会は、(旧)北小跡地に県立東はりま特別支援学校を、21年に開校すると発表しました。

新校の敷地の一部に地域交流施設が新設され、1階はNPO、スポーツクラブ21はりま、手をつなぐ育成会などが活動拠点として学校との協力体制を固める。2階は福祉関係の団体が利用し、作業所や訓練施設が設けられる予定。この施設は具体的にどう活用され、住民の要望も取り上げられるのか。